

皆さん、こんにちは！待ちに待った「第14回 全日本学生フォーミュラ大会」がいよいよここエコパ(静岡県)で開幕しました。

今年は海外チームも含めた95チームが本大会にエントリーしています。本日から10日(土)まで5日間のモノづくりにかけた学生らの「熱いバトル」にどうぞご期待ください。



■ 開会式

11時35分に野村大会委員長による開催宣言が行われ、正式に本大会がスタートしました。



■ 車検

8日からの動的審査に先立ち、スタジアム東側の車検テント内で行われています。動的審査に進むには車検通過が絶対条件となり、与えられた時間内で学生・審査員とも真剣にマシンに向き合っています。

お知らせ：本号（VOL. 1）のみ夕刻の発行となりますが、次号以降は毎朝の発行となります。公式Webサイトにも随時アップされますので、どうぞお楽しみに！

■ 今日の公式予定

- ・ 8:00～ 昨日に引き続き、車検および静的審査（スタジアム側）
- ・ 9:30～ プラクティス（動的審査エリア側）

■ 静的審査のようす

コスト書類と車両との整合性、車両の工夫点、企業への提案を審査する静的審査が行われています。



デザイン審査



コスト審査



プレゼン審査

■ 車検テントのようす

動的審査進出のためには車検の全検査項目の合格が絶対条件。学生も車検員とも真剣な表情でマシンに相對します。



チルト検査
(傾斜時の燃料漏れ等の確認)



騒音測定検査



■ プラクティス

車検を通過したマシンはプラクティスエリアで試運転・各部の微調整に取りかかります。→ご見学の際、一部、入場を制限するゾーンがありまので、ご注意ください。

お知らせ：本日12:00よりスーパーフォーミュラの「解体ショー」が行われます。めったに見れないプロ・マシンの細部をどうぞお見逃しなく！

■ **今日の公式予定**

- ・ 7:30～ プラクティス
- ・ 8:00～ 動的審査；スキッドパッド， アクセラレーション
- ・ 13:30～ 動的審査；オートクロス
- ・ すべてのエリアでのガイドツアーが実施されます。

■ **昨日のようす**

● **車検（ブレーキ検査）**

4輪とも同時にロックし所定のブレーキ性能を備えているかを検査します。



● **プラクティス（試運転）**

車検をパスしたマシンが試運転をおこないます（写真左）。動的エリアへは専用のローダーでマシンを搬送します（同右）。



● **車検通過情報（7日 18:50現在）**

43台のマシンが車検を通過し、本日からの動的審査に挑みます。

- ・ URL→ http://formula.jsae.or.jp/docu/inspection_20160907-1850.pdf

耳より情報！



～ 各マシンの計測タイムが随時更新！～
本日から行われる動的審査の計測タイムを公開するサイトがオープン！これは見逃せません！
・ URL→ <http://dp3.jp/result/201609>

お知らせ：本日予定されていた企業PRほか屋外テント各コーナーは台風の影響により中止となりました（明日以降は予定通り実施します）。

■ 今日の公式予定

- ・ 7:30～ プラクティス
- ・ 8:00～ 動的審査；エンデュランス（Bグループ）
- ・ 13:00～ 動的審査；エンデュランス（Cグループ）
- ・ 18:30～ デザインファイナル（アリーナ）

■ 昨日のようす

● アクセラレーション

0～75mの直線加速性能を競います。あいにくの路面コンディションで多くのチームが苦戦を強いられました。



● スキッドパッド

内径15mの「8の字コース」で定常円旋回性能を競います。アクセラ審査と同じく路面コンディションに悩まされました。



耳より情報！



～ 各マシンの計測タイムが随時更新！～
動的審査の計測タイムを速報するサイトが
オープン！これは見逃せません！

・ URL→ <http://dp3.jp/result/201609>

お知らせ：7日までにおこなわれました静的審査ベスト4校による「デザイン・ファイナル」がアリーナで開催！学生の知恵と努力がもっとも結実したのはどの大学のマシンか？…ぜひアリーナにおいでください！

■ 昨日のようす

● オートクロス

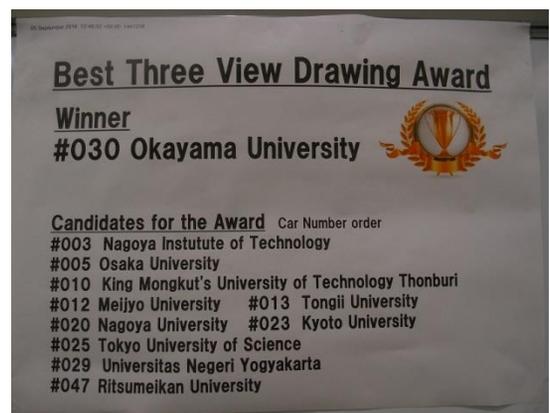
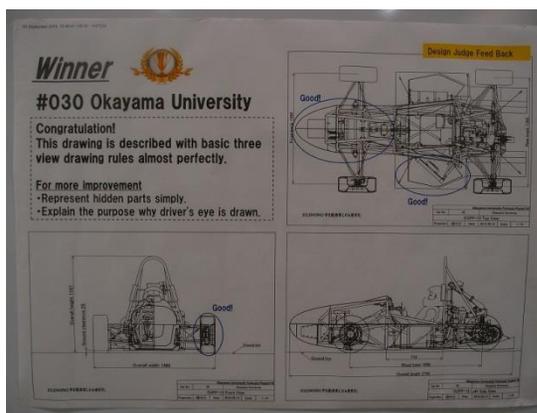
約800mの複合コースでのタイムトライアル。ここでの持ちタイムで本日から始まるエンデュランスのランオーダーが決まりますので、各チームとも時折のにわか雨の中(写真右)でも文字通り「必死の形相」です。



● ベスト三面図賞が発表される！

「設計行為の集大成である<図面>を通じてもっとも審査員により多くの情報を的確に伝えた」として岡山大学チームが受賞しました！

・ URL→http://formula.jsae.or.jp/docu/Official-Announcement_No.4.pdf



耳より情報！



～ 各マシンの計測タイムが随時更新！～
動的審査の計測タイムを速報するサイトがオープン！これは見逃せません！

・ URL→ <http://dp3.jp/result/201609>

お知らせ：7日までにおこなわれました静的審査ベスト4校による「デザイン・ファイナル」がアリーナで開催！学生の知恵と努力がもっとも結実したのはどの大学のマシンか？…ぜひアリーナにおいでください！

いよいよ最終日を迎えました。学生たちの「熱い闘志」にご期待ください！

■ 今日の公式予定

- ・ 7:30～ プラクティス
- ・ 7:30～ 動的審査；エンデュランス（EVおよびAグループ）
- ・ 12:30～ 動的審査；エンデュランス（トップ6校）
- ・ 15:30～ 交流会（アリーナ玄関前）
- ・ 17:00～ 表彰式（アリーナ）

■ 昨日のようす

● エンデュランス

約1kmの複合コースでの耐久走行。2名のドライバーで20周を走破します。全力を尽くしてコースに挑む姿はまさに学生フォーミュラの「花形」！チェッカーフラッグをめざし(写真右)アクセル全開です！



● ピットエリアでの学生同士の自主交流

エンデュランス審査を終えたチームなどからピットを展示ブースとして他校の学生らとQ&Aや情報交換などを行います。大会の「もうひとつの素顔」といえましょう。



お知らせ：すべての審査が終わればノーサイド！アリーナ玄関前の広場では学生同士の交流会が行われます。一般のお客様もご参加OKです。学生たちの「熱い想い」に触れてみてはいかがでしょうか？

■ 最終日(10日)のようす

大会最終日、好天の中でエンデュランスの最終審査と表彰式が行われました。ICVでは京都工芸繊維大学が、EVでは一関工業高等専門学校/岩手大学/岩手県立大学が優勝しました。

■ エンデュランス (午前のように)



7時30分、EVクラスのエンデュランスがスタート。今年3台出走し2台が完走しました。



続いてICV、Aクラスのエンデュランスが行われました。

■ エンデュランス・ファイナル6 (午後のように)



エンデュランス・ファイナル6ではハイペースな走行での接戦が繰り広げられました。

■ 表彰式

<総合表彰>

- 経済産業大臣賞～
(総合得点がかつとも高いチーム)
 - ・京都工芸繊維大学
- 国土交通大臣賞～
(安全技術、環境技術、新技術の評価が高いチーム)
 - ・名古屋工業大学
- 静岡県知事賞～
(静的審査、耐久走行を除く動的審査、騒音、消費効率、安全及び軽量化の評価が高いチーム)
 - ・名古屋工業大学
- 袋井市長賞～
(静的審査の得点がかつとも高いチーム)
 - ・名古屋大学
- 日本自動車工業会会長賞～
(全ての静的、動的審査に参加し、完遂・完走しているチーム～ただし、書類遅延およびエンデュランス走行後の騒音ペナルティがないこと)
 - ・19チームに授与
- ICV総合優秀賞～(全ての審査に参加し、ICVクラスで総合得点が高いチーム)
 - 1位 京都工芸繊維大学
 - 2位 横浜国立大学
 - 3位 名古屋工業大学
 - 4位 名古屋大学
 - 5位 日本自動車大学校
 - 6位 同志社大学
- EV総合優秀賞～(全ての審査に参加し、EVクラスで総合得点がかつとも高いチーム)
 - ・一関工業高等専門学校/岩手大学/
岩手県立大学 EV



<種目別表彰>

●プレゼンテーション賞

- 1位 U.A.S. Graz
- 2位 名古屋大学
- 3位 金沢大学

●コスト賞

- 1位 大阪大学
- 2位 同志社大学
- 3位 日本工業大学

●デザイン賞

- 1位 U.A.S. Graz
- 2位 名古屋大学
- 3位 名古屋工業大学

●加速性能賞

- 1位 Tongji University
- 2位 千葉大学
- 3位 U.A.S. Graz

●スキッドパット賞

- 1位 京都工芸繊維大学
- 2位 Tongji University
- 3位 千葉大学

●オートクロス賞

- 1位 U.A.S. Graz
- 2位 京都大学
- 3位 日本自動車大学校

●耐久走行賞

- 1位 U.A.S. Graz
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 日本自動車大学校

●省エネ賞(燃料消費効率)

- 1位 一関工業高等専門学校/岩手大学/
岩手県立大学 EV
- 2位 トヨタ名古屋自動車大学校 EV
- 3位 Institut Teknologi Sepuluh
Nopember Surabaya

松本大会実行委員長から



本年も国内外から多くのチーム(国内71、海外21)に参加いただき、また大勢の来場者の方々にお来し頂き誠にありがとうございました。

台風13号の影響で3日目は、雨の中での動的審査となりましたが、参加者および大会関係者の御協力により、予定通り事故なく終了できましたことを、この場をお借りして、御礼申し上げます。

総合優勝をまれにみる僅差で獲得した京都工芸繊維大学をはじめ各賞を受賞したチームの皆様、おめでとうございます。悔し涙を流したチームの皆様は、この思いを来年の車の改善に是非つなげてください。

来年一スタッフとして皆様と再会できることを楽しみにしております。